

R 5 年度 コミュニティ/実証・事業化WGの募集案内

1 募集概要

(1) コミュニティ/実証・事業化WGについて

京都ビッグデータ活用プラットフォーム会員（以下、KDBP会員）から、それぞれ取り組みたいテーマの募集及び参加者マッチングを行い、各会員のニーズに応じたコミュニティ/実証・事業化WGの組成を支援します。各WG等の取組が具体的な成果につながるように、事務局から定期的な助言やネットワーキング支援、取り組みの広報支援、各種補助金情報や最新関連情報の提供などを行います（詳細は別紙参照）。是非、ご応募よろしくお願いいたします。

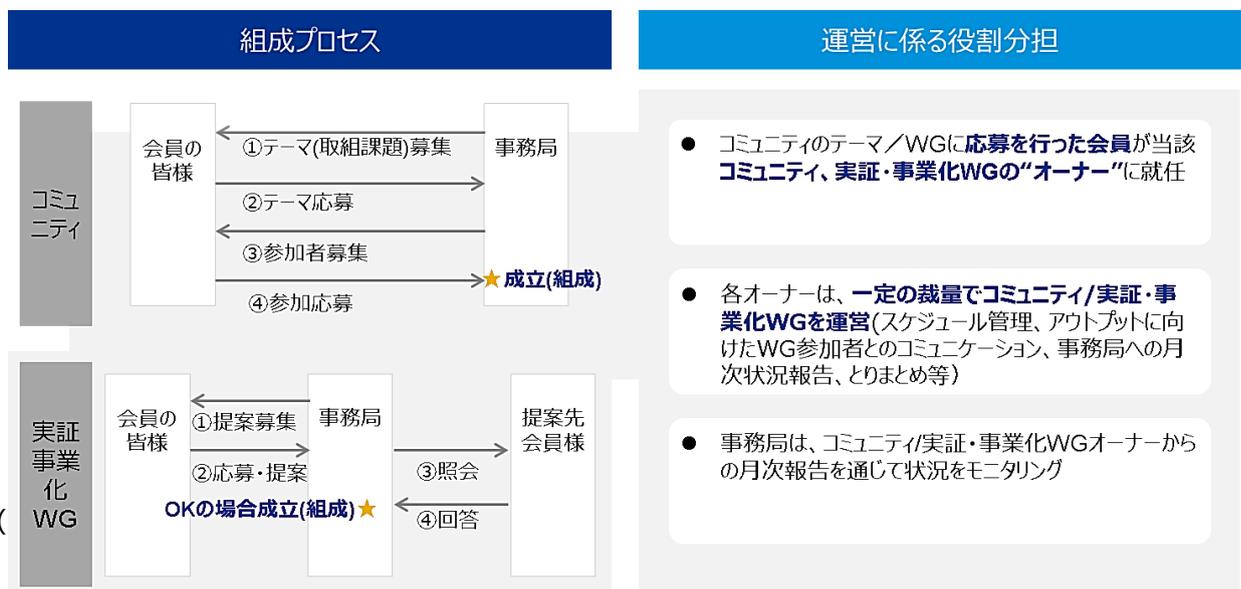
【参考：昨年度の課題別WG等の活動はこちら→ https://smart-kyoto.or.jp/past_activities/】

(* 1) コミュニティ…会員の皆様がより自由に課題感を共有し、共同で解決策を議論するなど、組織を超えて活発なネットワーキングを可能とする場のこと。このような場をご提供します。

(* 2) 実証・事業化WG…自治体から民間企業への提案募集(事業アイデア・実証実験)や、民間企業から自治体への自由な事業提案など、課題解決に直結するWGのこと。このようなWGの立ち上げ及び活動をサポートします。

(2) コミュニティ/実証・事業化WGの組成までの流れ

コミュニティ/実証・事業化WG組成の**応募者が自らオーナー**となり、スケジュール、アウトプット創出等、**裁量を発揮いただきながら**コミュニティ/実証・事業化WGを運営していただきます。



京都ビッグデータ活用プラットフォーム会員（KBDP会員）

（４）提出書類

- ・ 提出様式 1 : コミュニティ提案募集フォーマットもしくは
提出様式 2 : 実証・事業化WG提案募集フォーマット
- ・ その他の補足資料（様式自由）

（５）提出期限

5月31日（水）

（６）提出方法

京都ビッグデータ活用プラットフォーム事務局（以下連絡先）にメールで御提出ください。

（７）留意事項

- ・ 1 団体から複数提出いただいても結構です。
- ・ ご質問あれば、以下までお問い合わせください。
- ・ 各資料を提出後、必要に応じて、ヒアリングを実施いたします。
- ・ 提出いただいた内容を公表し、参加募集を実施します。参加者が集まらない場合は、WG等の組成ができない場合がありますので、その場合はご容赦ください。

2 主なスケジュール

- （１）コミュニティ/実証・事業化WGのテーマ募集（5/11（木）～5/31（水））
- （２）事務局ヒアリング（提出後～6月上旬）
- （３）参加者募集（6月上旬～6月中旬）
- （４）マッチング/組成、活動開始（6月中旬～）

3 お問い合わせ

京都ビッグデータ活用プラットフォーム事務局（京都府文化学術研究都市推進課）

メールアドレス：info@smart-kyoto.or.jp



京都ビッグデータ活用プラットフォーム

-コミュニティ/実証・事業化WGの概要-

京都ビッグデータ活用プラットフォーム運営協議会
((一社) 京都スマートシティ推進協議会 / (公財) 京都産業21 / 京都府文化学術研究都市推進課)

ご提供サービス (★ = 赤字 昨年度からの変更箇所)



01 京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議への参加

従来どおり、産学公の多様なプレイヤーが集う**京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議**を開催し、スマートシティやIoT、ビッグデータに関する最新の情報をご提供します。



02 コミュニティ形成支援

会員の皆様がより自由に課題感を共有し、共同で解決策を議論するなど、**組織を超えて活発なネットワーキング**を可能とする場をご提供します。



03 実証・事業化WG支援

自治体から会員企業への提案募集(事業アイデア・実証実験)や、会員企業から自治体への自由な事業提案など、**課題解決に直結するWGの立ち上げをサポート**します。



04 国・府補助事業情報の積極提供／オブザーバー支援

国や京都府が実施する補助事業の情報を事務局が収集し、**情報発信を強化**します。また、ご要望に応じて**オブザーバーとして申請・事業実施をサポート**します。



05 データ利活用の支援★

官民データが流通する**データ取引市場「KYOTO DATA MARKETPLACE」**を開設し、会員が保有するデータの流通の促進及び会員のデータ活用を支援します。

活動支援スキーム

課題共有やネットワーキングを目的とした「コミュニティ」と、事業立ち上げに特化した「実証・事業化WG」により、課題マッチング、事業組成を支援します。データ取引市場を開設し、データ利活用を支援します。

01 情報収集

京都ビッグデータ 活用PF全体会議



専門セミナー

02 課題の共有・ ネットワーキング

コミュニティ

会員の皆様がより自由に課題感を共有し、共同で解決策を議論するなど、組織を超えて活発なネットワーキングを可能とする場をご提供します。



課題を共有し、
解決策を議論

興味のあるテーマで
ネットワーキング

03 事業化特化 グループ形成

実証・事業化 WG

自治体から会員企業への提案募集(事業アイデア・実証実験)や、会員企業から自治体への自由な事業提案など、課題解決に直結するWGの立ち上げをサポートします。



実証等、事業化に
向けた取組を推進

国・府補助
事業も活用

国・府補助事業情報の積極提供

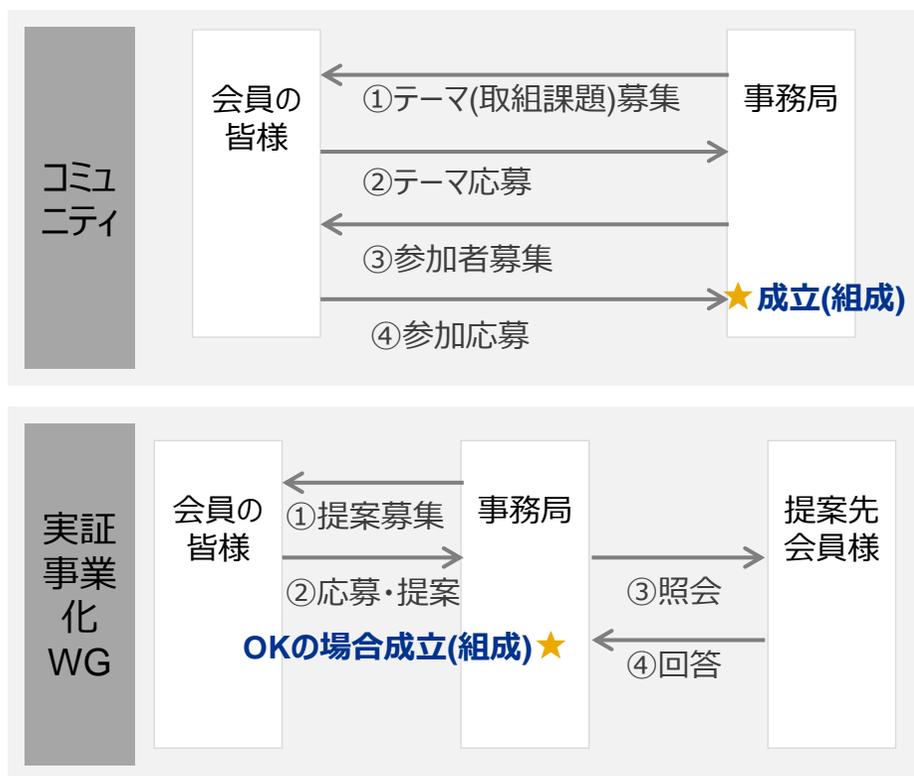
new

データ利活用の支援（データ取引市場「KYOTO DATA MARKETPLACE」開設）

コミュニティ/実証・事業化WGの運営方法

コミュニティ/実証・事業化WG組成の応募者が自らオーナーとなり、スケジュール、アウトプット創出等、裁量を発揮いただきながらコミュニティ/実証・事業化WGを運営可能とします(事務局はモニタリングを実施)。

組成プロセス



運営に係る役割分担

- コミュニティのテーマ/WGに応募を行った会員が当該コミュニティ、実証・事業化WGの“オーナー”に就任
- 各オーナーは、一定の裁量でコミュニティ/実証・事業化WGを運営(スケジュール管理、アウトプットに向けたWG参加者とのコミュニケーション、事務局への月次状況報告、とりまとめ等)
- 事務局は、コミュニティ/実証・事業化WGオーナーからの月次報告を通じて状況をモニタリング

全体スケジュール(予定)



※ 情報提供のタイミングは目安であり、不定期な情報発信となる場合もあります。

参考：Q&A一覧

No	Q	A
01	<ul style="list-style-type: none">● 仮に自治体や特定企業に対して事業案を提案したがWG組成に至らなかった場合、提案した内容の取扱いはどうなるのか。	<ul style="list-style-type: none">● 会員企業の皆様のアイデア・ノウハウを保護する観点から、WG組成に至らなかった場合の提案内容は非公開とする予定です。● なお、WGが成立した場合、WG内での議論は原則非公開とする想定ですが、公開討議を行いたい等の要望がある場合、その支援を行います。
02	<ul style="list-style-type: none">● WGに複数企業が参加する場合、WG内で議論されたビジネスアイデアや実証を通じて獲得した技術知見等についての権利関係はどのように整理されるのか。	<ul style="list-style-type: none">● オープン・イノベーションのスタンスを前提としていただき、WG内での議論や取組を通じて共同事業案などの成果が生まれた場合、例えばIP化などの取組を検討いただくなど、WG参加者の皆様において適宜協議いただくことを想定しています。
03	<ul style="list-style-type: none">● 会員自治体から会員企業への提案募集支援について、この支援を通じてWGが立ち上がった場合、当該WGで議論されたビジネスアイデアは事業化が確約されるか。 また、受託事業の形式をとることとなった場合、提案者の受注は確約されるか。	<ul style="list-style-type: none">● 本取組は、課題を解決するための方法を提案いただくことを通じて、会員である自治体の皆様と民間企業の皆様との対話の機会を提供するものであり、事業化・受注を確約するものではありません。● なお、会員企業から会員自治体への提案支援についても同様です。

各種様式

コミュニティ 提案募集シート

団体名	●●市、●●●●(株)もしくは●●大学等		
募集テーマ区分	1.観光 2.健康/医療 3.環境 4.交通/物流 5.農林 6.文化 7.教育 8.行政サービス 9.防災 10.感染症対策 11.その他(スマートシティ)※複数回答可		
コミュニティ 組成理由	A.特定テーマに関する事例研究 例:地域住民の健康促進に資する取組事例、官民連携手法(PPP、PFI等) B.特定課題に関する情報交換 例:デジタルを活用した新型コロナウイルス感染症対策		
取組概要	<p>現在、国の政策であるデジタル田園都市国家構想が推進されており、今後、急速にスマートシティやDX等が進むことが予想される。そのような中で、デジタル実装したサービスをどのような実施体制でどのように継続維持していくのか、またマネタイズして自走させるのか、非常に悩ましく、頭を抱えている。</p> <p>共に検討してくれる企業を募り、全国の事例の収集や、持続可能な実施体制モデルを検討したい。(→将来的には実証・事業化WGに移行することも見据えて)</p>		
活動希望期間 /スケジュール (半年～最長1年)	1年(6月開始、8月事例収集、11月アンケート実施、1月セミナー開催)		
担当者連絡先	【所属】 【電話番号】	【役職】 【メールアドレス】	【氏名】

コミュニティ 参加希望シート

団体名	●●市、●●●●(株)もしくは●●大学等						
参加希望番号							
コミュニティ 参加理由	<p>例1)本自治体でも、スマートシティを進めていきたいが、同様の課題を抱えており、予算 査定で耐え得る内容をともに検討したい。</p> <p>例2)弊社は、全国のいくつかの自治体でスマートシティを進めており、何例か実際の ビジネスモデルや実施手法をご紹介できるので、一度お話を聞かせていただきたい。</p>						
団体概要 (特徴など)	弊社(本市)は……						
担当者連絡先	<table><tr><td>【所属】</td><td>【役職】</td><td>【氏名】</td></tr><tr><td>【電話番号】</td><td>【メールアドレス】</td><td></td></tr></table>	【所属】	【役職】	【氏名】	【電話番号】	【メールアドレス】	
【所属】	【役職】	【氏名】					
【電話番号】	【メールアドレス】						

実証・事業化WG提案募集シート TYPE1(官→民)

自治体名	●●市		
募集テーマ区分	1.観光 2.健康/医療 3.環境 4.交通/物流 5.農林 6.文化 7.教育 8.行政サービス 9.防災 10.感染症対策 11.その他() ※複数回答可		
WG組成理由	R5年度に健康分野の新規事業の予算要求を検討しており、健康アプリを作れるIT企業等と連携し、新しい健康増進プロジェクトを検討したいため。		
解決したい課題 (WGで検討したいこと)	当市は、深刻な少子高齢化に加え、生産年齢人口に対して、医師数が下回っており、若年層の未病対策や高齢者の健康予防等のフレイル対策が急務。健康増進を自然に促すスマートライフアプリを検討したい。 【※具体の提案先名(企業名)があれば記載ください】		
WG活動希望期間 /スケジュール (半年～最長1年)	6ヶ月(6月WG開始、8月実証実験、11月予算要求提案)		
担当者連絡先	【所属】 【電話番号】	【役職】 【メールアドレス】	【氏名】

実証・事業化WG提案募集シート TYPE2(民→官)

団体名	●●●●(株)もしくは●●大学等		
募集テーマ区分	1.観光 2.健康/医療 3.環境 4.交通/物流 5.農林 6.文化 7.教育 8.行政サービス 9.防災 10.感染症対策 11.その他() ※複数回答可		
WG組成理由	弊社で新しいソリューションを開発したため、市町村や地域を巻き込み、実証実験がしたい。関心のある市町村と連携し、共同プロジェクトを実施したい。		
解決したい課題 (WGで検討したいこと)	●●市は、今後高齢化が確実に進む地域であり、住民の日常生活の主な移動手段はマイカーであり、車なしでは日常の移動に支障をきたす地域と言える。快適で安心できる持続可能な交通インフラ整備を進めていくことが必要であるため、弊社が開発した次世代型モビリティであるオンデマンド自動運転バスを提案する。 【※具体の提案先名(自治体名)があれば記載ください】		
WG活動希望期間 /スケジュール (半年～最長1年)	1年 (6月WG開始、9月実証実験計画策定、11月実証実験、2月検証・サービスプラン提案)		
担当者連絡先	【所属】 【電話番号】	【役職】 【メールアドレス】	【氏名】

実証・事業化WG提案募集シート TYPE3(民→民)

団体名	●●●●(株)もしくは●●大学等
募集テーマ区分	1.観光 2.健康/医療 3.環境 4.交通/物流 5.農林 6.文化 7.教育 8.行政サービス 9.防災 10.感染症対策 11.その他() ※複数回答可
WG組成理由	弊社でコロナ対策用のアプリを開発したので、実フィールドで実証実験し、サービス実装に向けた検証をしたいため。
解決したい課題 (WGで検討したいこと)	昨今のコロナ蔓延を受け、人の集まるイベントや会議などの実施が滞り、大きな経済損失に繋がって居る。これらを受け、弊社はPCR検査結果や抗原検査結果をアプリに連携させ、相互認証できるソリューションを開発した。本アプリを使い、参加者とイベント主催者の安心・安全環境を担保することで、人の集まるイベントや会議などの円滑な実施を支援する。これらを検証できる大学やイベント施設、民間事業者などのフィールドをお借りし、検証したい。 【※具体の提案先名(企業名)があれば記載ください】
WG活動希望期間 /スケジュール (半年～最長1年)	1年 (6月WG開始、9月実証実験計画策定、11月実証実験、2月検証・サービスプラン提案)
担当者連絡先	【所属】 【役職】 【氏名】 【電話番号】 【メールアドレス】

